

岡山市入札外部審議委員会の概要

平成27年度第4回岡山市入札外部審議委員会（以下「審議委員会」という。）を下記のとおり開催しましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1 開催日

平成28年2月5日（金） 午前9時55分から午前11時50分

2 開催場所

岡山市庁舎 5階入札室

3 出席委員（敬称略 五十音順）

岡崎 優子，松本 正子，的場 真介，和田 治郎

4 事務局

（1）岡山市

佐々木財政局長，森安審議監，山本契約課長，大島工事契約担当課長，岡本契約課課長補佐，林契約課課長補佐，藤本工事契約係長，水野管理係長，山本契約課副主査，徳丸契約課主任

（2）水道局

小林統括審議監，浅田管財課長，國富管財課課長代理，樋口契約係長，岸本管財課主任，平山管財課主任

5 会議次第

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）委員長選出及び委員長職務代理者の指名

（4）議題

- 1 岡山市抽出議案について審議
- 2 岡山市水道局抽出議案について審議
- 3 その他

6 会議概要

1-1 岡山市抽出議案「工事契約」について

(主旨：三者のうち一者を低入札価格調査の結果により落札業者を決定したが、二者については失格となった一般競争入札について)

Q：許容価格の設定自体に企業の技術革新や営業努力の部分が反映されておらず、高すぎるのではないか。

A：基本的には国の基準を準用しており、基準については毎年調査をしており許容価格に順次反映されていると考えている。また、積算基準は国が作って公表しておりそこから業者の方が低入札でも取りたいという意味では競争性が確保されていると考えられる。ただ数値的失格基準の設定の仕方については今後検討の余地があるが、あまり引き下げると乱雑な工事が増えてくるという危険もあると考える。

Q：国の積算基準について大都市部と岡山、その他の地域では労務費等に格差があると思うが、同じ積算基準か。

A：国の積算基準は工事にかかる人数、機械の稼働時間等客観的な調査に基づく基準で、労務賃あるいは共通的な仮設等を行う場合の都市部と地方の差が調査に基づいて率に反映するしくみとなっており、現場ごとに反映されていると考えている。

Q：国の積算基準に基づき市が積算した場合、担当者によって積算額が変わることはあるのか。

A：市の職員なら同じ金額になる。

Q：失格基準について寛容的な運用によりコストも削減できるのではないか。

A：コスト面は重要と考えるが、粗雑工事等にならないよう運用することが必要と考える。

1-2 岡山市抽出議案「業者管理」について

(主旨：指名停止により名簿から削除されている期間に、再度指名停止に該当する案件が生じた場合の取扱いの検討について)

Q：指名停止により名簿から削除された場合と指名停止で名簿には登載されている場合があるが、前者の場合には名簿の削除期間を過ぎれば再申請ができ入札等に参加できるのか。

A：指名停止期間の申請はできないが、それ以後は入札参加資格の新規申請は可能である。

Q：名簿に登載された状態で指名停止となった後、指名停止期間に追加で指名停止になった場合いつから入札参加が可能か。

A：追加の指名停止期間終了後に入札参加が可能である。

Q：指名停止により名簿から削除された場合はどうなるのか。

A：名簿から削除されている場合は、追加の指名停止という概念がない。

2-1 水道局抽出議案「工事請負契約」について

(主旨：二度入札したがいずれも落札せず、エリアを拡大した結果落札した一般競争入札について)

Q：入札の参加資格要件にどのようなルールがあるのか。

A：建設工事（特殊工事を除く）において工種及び許容価格に応じたエリアとランクを定めた参加資格要件の設定に関する要項を定めている。

Q：参加要件のエリアを拡大して三回目の入札で落札しているが、一回目の入札から参加要件を広げるためエリアを拡大するのは可能か。

A：現状として応札者がいない案件は稀であり、特殊な案件を除き要項に定める原則どおりに公告すべきと考えている。

Q：一般競争入札であれば参加要件のエリアを全市対象としてもいいのではないか。

A：特別な場合を除けば施設の属する地域等を考慮すべきと考える。

2-2 水道局抽出議案「物品契約」について

(主旨：物品契約の入札における参加資格登録区分がなしの場合の一般競争入札について)

Q：物品契約における電子入札のくじの運用について。

A：電子入札システムで入札金額登録を業者が行い、実際にサーバーに到着したミリ秒で一定の算出式によりくじ番号が決定する。入札価格が同額の場合にはそれを基に電子くじを行い、落札者を決定する。

Q：物品によっては実際に指定できる物品がない場合、どのように検査しているのか。

A：職員が性能等が仕様書に合致したものであるかを確認し、検査している。

(終了)